

至香住海岸

井上城跡

永正5年(1508)年頃の城主として小野木玄蕃正光の名が伝わっている。現在は権現社が建てられている。

吉野神社

岡畑遺跡

大乘寺収蔵庫の建設時に発見された遺跡。弥生～古墳時代にかけての土器と住居跡が見つかった。

吉野神社参道入り口

このあたりに芝居堂があった。

砂利がどれたため「シャリ場」と呼ばれていた。

大乘寺収蔵庫

タモの木
「このタモの木は森地区を象徴する木です」と案内役の小幡昭義さん。

森区会館

阿弥陀堂
阿弥陀堂に立つ六地藏は森地区の基点となっている。

麻畑や梨畑が広がっていた場所。

オ(塞)の神と榊の木

大乘寺門前茶屋
芭蕉庵

大乘寺(応挙寺)

大乘寺のクスノキ
香住に現存する最も古い木で樹齢は800年を超えており、クスノキでは但馬一の巨木。

矢田川

川いとこの階段がたくさん見られる用水路。

旧香住鶴の蔵
享保10年(1725)創業。「香住鶴」の銘柄で親しまれている。

森の榊の木

延宝時代に植えられたもので樹齢370年以上。その昔、集落で火事があった際にこの榊の木で燃え広がる火が止まったという話が伝わっている。

黒壁の民家

料理民宿・応挙前

県道4号

集落が矢田川にぐるりと囲まれているよう。

至香美町村岡区

応挙の散歩道の看板

ホッと蔵(旧トキワの蔵)
大正元年(1912)創業のトキワの蔵。現在は絵てがみギャラリーとなっており、絵てがみの展示や体験などができる。

